**Title[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman /16 pt / Centering / Boldface]**

－Subtitle[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman / 14 pt / Centering]－

Author name, 2nd author１）, 3rd author[same above / 12 pt / Centering]１）,

4th author２）, 5th author２） and 6th author３）\*

Department of Applied Mathmatics, Faculty of Science[Italic / 9 pt / Centering],

1) Graduate School of Science,

2) Department of Mathematical Information Science, Faculty of Informatics,

3) Department of Information & Computer Engineering, Faculty of Engineering,

Okayama University of Science,

1-1 Ridai-cho, Kita-ku, Okayama 700-0005, Japan

 Please wright down the abstrct of this article, if you hope. Please wright down the abstrct of this article, if you hope. Please wright down the abstrct of this article, if you hope. Please wright down the abstrct of this article, if you hope. Please wright down the abstrct of this article, if you hope. Please wright down the abstrct of this article, if you hope. [Century, Roman, Times Roman, Times New Roman /9pt/Boldface]

**Keywords:** word1; word2; word3(font は抄録部と同じ / Size : 9 pt / 普通名詞の場合すべて小文字 / 固有名詞の場合には先頭は大文字 / 最後のキーワードの後ろにピリオドを付す); word4.

０．簡単な説明

　このファイルは、岡山理科大学紀要原稿（欧文・２段組）作成用の書式サンプルファイルです。

　大まかな説明を書いておきます。

　まず、このファイルを「文書テンプレートファイル」として保存し、新規文書でそのテンプレートファイルを利用することをお勧めします。

 論文作成時は、０章をまず削除した後、論題や著者名や本文などを該当部分に入力して、不要部分を削除して下さい。

 また、各部の様式に対応したスタイルを定義してありますので、新たに書式指定する場合にご利用下さい。ちなみにスタイル名は「紀要洋××」のような名前を使用しており

　　章の題名部分＝紀要洋章題

　　章の細目となる節などの小項目

　　　　　　　　＝紀要洋項目題

　　論文の本文　＝紀要洋本文

などがあります。

 副題は必須ではありませんので、必要な場合に記入して下さい。

０－１　書式について

　本文では、以下の点に注意して下さい。次項より使用する文字の種類（フォント／太さ／大きさ）、段組、その他の順で説明を記載しています。

０－２　文字の種類

　本文には、次の文字を使用して下さい。

　　・フォント　：　Centu-ry, Roman, Times Roman or Times new Roman

　　・字の太さ　：　普通または標準

　　・大きさ　　：　１０ポイント

０－３　段組について

　本文は、１段組または２段組で記載して下さい。（この例は２段組で作成しています。）１ページの行数は下記の書式を使用して下さい。

　・１段組の場合　：　４８行

　・２段組の場合　：　４８行＊２段

０－４　章題・項目題の空白行の位置について

　章題の直前の行は空白行として下さい。

　章題と項目題の間には空白行を入れないで下さい。項目題の直前が章題でない場合のみ、項目題の直前の行を空白行として下さい。

０－５　禁則処理について

　可能であれば、禁則処理をして下さい。

 ワープロにある禁則処理機能の使用をお薦めします。

０－６　標題部について

　論題・著者名・著者の所属についての書式は、上記のフォント／太さ／大きさに合わせて下さい。各々の間に入っている空白行の数も、上記に合わせて下さい。

０－７　上下左右の余白について

　上端より３．５ｃｍ、下端より３ｃｍ、左端右端より２．５ｃｍの余白を取って下さい。

０－８　図・写真について

　図や写真は原稿中に作成して下さい。（別途添付することも可能ですが、その場合は原稿中の該当位置を空白とし、図・写真の番号及び説明文をその空白の下に記載して下さい（この例は、写真は別添の場合のものです）。番号及び説明の大きさは、９ポイントです。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Input  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  Output |  |  |  |  |

 Fig.1 In/Output Signals　　Photo１ Measerment

原則として図や写真の番号はアラビア数字による連続した続き番号を使用して下さい。

０－９　表について

　表は極力小さくし、原則として縦線は入れないで下さい。また、表のタイトルは表の上端中央に記載し、凡例等解説は表の下端に左詰めで記載して下さい。

 Table 1 Top/Bottom/Left/Right Margins

 ―――――――――――――――――――

 Top Bottom Left/Right

 ―――――――――――――――――――

　　 Margin 3.5 3.0 2.5

 ―――――――――――――――――――

 \* Unit = cm

０－１０　外字について

　外字の作成が困難な場合は、該当文字数を空白とし、原稿を３部提出して下さい。３部目の原稿に手書き（あるいは辞書の拡大コピーを貼るなど）で該当文字を記入して下さい。できるだけ欄外に大きな文字を書き、該当位置まで線を引くなどの方法をお取り下さい。印刷業者に該当の活字を作成してもらい、印刷時に該当位置に貼り込みます。

０－１１　参考文献の参照方法について

　各分野の慣行に従った方法１）で行って下さい。この例では、文献番号を振る方法を用いています。

　また、参考文献の記載には、指定された種類の文字２）・段組3)を使用して下さい。

０－１２　欧文抄録について

　論文自体が欧文である場合、抄録はなくてもかまいませんが、抄録を作成する場合は、著者の所属の最後の行から３行空白をおいてから記述して下さい。また、以下の書式を使用して下さい。

　・フォント：Century, Roman, Times Roman, Times New Roman

　・太さ　　：太字（ボールド）

　・サイズ　：９ポイント

　・配置　　：両端揃え(justification)

　尚、１単語が行を跨る場合には、慣用にしたがってハイフォン(-)でつないで下さい。

０－１３　キーワードについて（Ａ分冊では必須）

　No.42(2006)より、Ａ分冊では抄録より１行空白行を置いて（抄録がない場合は、著者の所属の最後の行より３行空白行をおいて）、キーワードを記載することとなりました。書式は１ページ目の例を参照して下さい。キーワードが普通名詞の場合には全て小文字、固有名詞の場合には先頭は大文字として下さい。

1. Title of Chapter 1 [Century, Roman, Times Roman or Times new Roman/10pt/Boldface]

1-1 Title of section [10pt]

 Use the font : Century, Roman, Times Roman or Times new Roman / the size : 10 pt / justification here.

1-2 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

1-3 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

1-4 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

1-5 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

2. Title of Chapter 2 [10pt/Boldface]

2-1 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

2-2 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

2-3 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

2-4 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

2-5 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

3. Title of Chapter 3 [10pt/Boldface]

3-1 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

3-2 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

3-3 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

3-4 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

3-5 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

4. Title of Chapter 4 [10pt/Boldface]

4-1 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

4-2 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

4-3 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

4-4 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

4-5 Title of section [10pt]

 Wright down your article here.

Refernces [10pt/Boldface]

1) Century, Roman, Times Roman, Times new Roman / the size : 8 pt / justification here.

2) Authors, Title of Book, Publisher Name, Publish place, Publish year.

3) Authors, Title of article, Journal Name, Vol, No(Publish year), pp.start page-end page.

4) フォントと文字サイズ以外の書式は各分野の慣習に準拠した形で作成して下さい。